



2025 年 4 月 15 日

各 位

会 社 名 Green Earth Institute 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 伊 原 智 人
(コード番号：9212 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 浦 田 隆 治
(TEL 03-5315-0531)

バイオリファイナリーの事業化に向けた共同開発契約締結のお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、下記のとおり、大王製紙株式会社（以下、「大王製紙」という。）と、バイオリファイナリー^{※1}の事業化に向けた共同開発契約（以下、「本契約」という。）を締結することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 本件の概要

当社と大王製紙は、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の助成及び委託を受け実施している「バイオものづくり革命推進事業／製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」事業^{※2}（以下「NEDO 事業」）において、当社が菌体開発・発酵プロセス・分離精製プロセスの研究開発及び実証を進め、大王製紙が木質バイオマス及び古紙・廃棄物を原料とした化成品原料の製造における原料前処理・製造プロセス・LCA^{※3}を始めとする木質バイオマスの価値化を進めることとしています。

具体的には、SAF^{※4}やバイオ燃料の原料となる第二世代バイオエタノール^{※5}、化粧品や食品用途にも応用可能なアミノ酸、生分解性のあるバイオ樹脂原料の生産を想定しており、当社はこれらのバイオ化学品を生産する菌体の開発や生産プロセスの最適化、スケールアップや生産実証に取り組んでおります。

2. 本契約の内容

当社と大王製紙は、NEDO 事業の一環として、本日付で、バイオリファイナリーの事業化に向けた新たな共同開発契約を締結しました。本契約は、2024 年 8 月に締結した両社間の共同開発契約^{※6}の後継にあたる 2025 年度から 2027 年度までの 3 年間の共同開発契約となります。今回の契約において、新たに 2025 年 4 月から 2028 年 3 月までの 3 年間の開発の内容を合意しました。

当社は、大王製紙から 3 年間総額 777,564 千円（税別）の開発費を受領し、バイオ化学品を生産する菌体の改良やパイロットテスト等を推進してまいります。

なお、各年度の開発費の内訳は以下の通りです。



(単位：千円)

年 度 [※]	2025		2026		2027	
	フェーズ1 [※]	フェーズ2	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ1	フェーズ2
当社決算期	2025年9月期	2026年9月期		2027年9月期		2028年9月期
開発費（税別）	218,974	109,487	214,466	107,233	84,936	42,468

3. 本契約の相手先の概要

(1) 名 称	大王製紙株式会社			
(2) 所 在 地	東京本社：東京都千代田区富士見2丁目10番2号 飯田橋グラン・ブルーム 四国本社：愛媛県四国中央市三島紙屋町628			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 社長執行役員 若林 頼房			
(4) 事 業 内 容	1. 紙・板紙・パルプ及びその副産物の製造加工並びに販売 2. 日用品雑貨の製造加工並びに販売 3. 機能性フィルム、粘着シート及び粘着剤等合成樹脂材料の製造加工並びに販売 4. 前各号に関連するプラントの設計、据付、売買並びに技術指導 5. 紙類・パルプ類製造加工に係る原材料・燃料の製造加工並びに売買 他			
(5) 資 本 金	539億円（2024年3月31日現在）			
(6) 設 立 年 月 日	1943年5月5日			
(7) 大株主及び持株比率 （2024年9月30日現在）	北越コーポレーション株式会社 24.8% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 7.6% 大王海運株式会社 6.7% 株式会社伊予銀行 4.2% 株式会社愛媛銀行 4.1% 株式会社日本カストディ銀行（信託口） 4.1% 愛媛製紙銀行 3.2% カミ商事株式会社 2.8% 兵庫製紙株式会社 1.9% 農林中央金庫 1.7%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	当該会社は当社と営業上の取引関係があります。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	決算期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
連 結 純 資 産		266,704百万円	244,670百万円	259,831百万円
連 結 総 資 産		840,441百万円	923,531百万円	939,490百万円
1株当たり連結純資産		1,561.52円	1,414.73円	1,487.10円
連 結 売 上 高		612,314百万円	646,213百万円	671,688百万円
連 結 営 業 利 益		37,569百万円	△21,441百万円	14,367百万円



連結経常利益	37,696百万円	△24,050百万円	9,622百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,721百万円	△34,705百万円	4,507百万円
1株当たり連結当期純利益	142.91円	△209.01円	27.10円
1株当たり配当金	22.00円	16.00円	16.00円

4. 本契約の日程

(1) 取締役会決議日	2025年4月15日
(2) 契約締結日	2025年4月15日

5. 業績に与える影響

当会計年度の業績に与える影響につきましては、2024年11月14日に公表した「2024年9月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」における2025年9月期の業績予想に織り込まれているため、軽微と考えております。翌会計年度以降の業績に与える影響につきましては、各年度の開発費の内訳に記載の金額が売上高に計上される予定であります。

中長期的には、本件を通じて、非可食バイオマスを原料としたバイオ化学品生産のテクノロジーパッケージの高度化を実現するとともに、国内外への展開等を企図しており、当社における更なる業績及び企業価値の向上に資するものと考えております。

今後、当社の業績に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、速やかにお知らせいたします。

※1 原油から化学品、素材、燃料を製造するオイルリファイナリーに対して、再生可能資源であるバイオマスを原料として、バイオ燃料やバイオ化学品を生産する技術や産業のこと。バイオマスより様々な燃料や化学製品を製造すること。

※2 本件に関連する既出のニュースリリース

<当社>

- ・2023年10月11日 [「NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の採択決定](#)
- ・2024年2月5日 [「NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の確定通知](#)
- ・2025年3月26日 [「NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の助成期間延長の交付決定通知](#)

<大王製紙>

- ・2024年5月13日 [「バイオリファイナリー事業化に向けた生産実証事業開始について」](#)

※3 LCA : Life Cycle Assessment (ライフサイクルアセスメント) の略語。ある製品・サービスのライフサイクル全体(資源採取—原料生産—製品生産—流通・消費—廃棄・リサイクル)又はその特定段階における環境負荷を定量的に評価する手法。



- ※4 SAF : Sustainable Aviation Fuel の略語。持続可能な航空燃料。生産・収集から、製造、燃焼までのライフサイクルで CO₂排出量を従来燃料より大幅に削減し、既存のインフラをそのまま活用できる持続可能な航空燃料のこと。
- ※5 食料と競合しない非可食用のバイオマス为原料とするエタノールのこと。対比して、砂糖やでんぷん、植物油等のバイオマスの可食部为原料として製造されたバイオエタノールは第一世代バイオエタノールと呼ばれる。
- ※6 2024年8月28日 当社ニュースリリース「[製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた開発契約を締結](#)」
- ※7 「年度」は当年4月から翌年3月までの1年間です。各年度のフェーズはフェーズ1が当年4月から当年8月、フェーズ2が当年9月から翌年3月まで。
- ※8 フェーズごとの検収を経て売上計上される。

以上